【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【公表番号】特表2005-522965(P2005-522965A)
【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)
【年通号数】公開・登録公報2005-029
【出願番号】特願2003-587041(P2003-587041)
【国際特許分類】
*Ｈ０４Ｊ　3/24　(2006.01)*
*Ｈ０４Ｑ　7/38　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｊ　3/24
Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成18年1月6日(2006.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無線通信システムで送信されてきた通信データを受信して処理するように動作する通信局用装置であって、該通信局に送信された該通信データを処理するために第１動作モードと第２動作モードのうちの少なくとも１つを選択するようになっている制御装置であって、該第１動作モードと該第２動作モードの選択が高速データ・チャネルが割り当てられているかどうかに依存しており、該第１動作モードと該第２動作モードはＲＬＰ層内で異なる動作モードである、制御装置を備える通信局用装置。
【請求項２】
前記高速データ・チャネルが順方向パケット・データ・チャネルである請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記通信局は移動局から成り、該移動局には前記制御装置が備えられる請求項１に記載の装置。
【請求項４】
前記無線通信システムは前記移動局への前記通信データの伝送を提供し、該通信データは、第１フォーマット・タイプの場合、第１フレーム長で形成され、第２フォーマット・タイプの場合、第２フレーム長で形成され、該第２フレーム長は部分的に該第１フレーム長に関連付けられる請求項３に記載の装置。
【請求項５】
前記通信局は無線リンク・プロトコル層を含む論理層によって規定され、前記制御装置は該無線リンク・プロトコル層において実現される請求項１に記載の装置。
【請求項６】
前記無線通信システムは無線リンク・プロトコル層を含む論理層によって規定され、前記第１フォーマット・タイプ及び第２フォーマット・タイプは無線リンク・プロトコル層フォーマット化タイプから成り、前記制御装置は、前記第１動作モードと前記第２動作モードのいずれのモードで該無線リンク・プロトコル層において前記データを処理するかを選択する請求項１に記載の装置。

【請求項７】
前記第１フォーマット・タイプは１ｘＲＴＴフォーマット化から成り、前記通信局に送信された前記通信データは１ｘＲＴＴデータから成り、前記制御装置は前記第１動作モードで該１ｘＲＴＴデータを処理することを選択する請求項５に記載の装置。
【請求項８】
前記第２フォーマット・タイプは１ｘＥＶ－ＤＶフォーマット化から成り、前記通信局に送信された前記通信データは１ｘＥＶ－ＤＶデータから成り、前記制御装置は前記第２動作モードで該１ｘＥＶ－ＤＶデータを処理することを選択する請求項１に記載の装置。
【請求項９】
前記制御装置によって行われる選択は前記第１動作モードと前記第２動作モードの双方で前記通信データの処理を行うことを選択することを含む請求項１に記載の装置。
【請求項１０】
前記通信データが形成される前記第１フォーマット・タイプは第１フレーム長のフレームを規定し、前記第１動作モードは該第１フレーム長の連続するフレームのデータが処理されるフレーム・モードから成る請求項１に記載の装置。
【請求項１１】
前記第１フレーム長は２０ミリ秒のフレーム長から成り、前記制御装置が前記フレーム・モードを選択する場合は、前記通信データは２０ミリ秒間隔で処理されるように選択される請求項１０に記載の装置。
【請求項１２】
前記通信データが形成される前記第２フォーマット・タイプはタイムスロット・フォーマット化データ、第２の長さの各タイムスロット、該第２の長さの倍数の前記第１フレーム長を規定し、前記制御装置によって選択可能な前記第２動作モードは、該第２の長さの連続するタイムスロットの該通信データが処理されるスロット・モードから成る請求項１０に記載の装置。
【請求項１３】
前記タイムスロットの前記第２の長さが１．２５ミリ秒から成り、前記制御装置が前記スロット・モードを選択する場合は、前記通信データは１．２５ミリ秒間隔で処理されるように選択される請求項１２に記載の装置。
【請求項１４】
前記フレーム・モードと前記スロット・モードの双方で前記通信データを前記選択器が処理する請求項１２に記載の装置。
【請求項１５】
前記無線通信システムが順方向パケット・データ・チャネルを規定し、前記第２フォーマット・タイプの通信データが該順方向パケット・データ・チャネルで伝送され、前記制御装置が前記第２動作モードを選択して該順方向パケット・データ・チャネルで伝送された該通信データを処理する請求項１に記載の装置。
【請求項１６】
無線通信システムで動作する通信局で受信した、第１フォーマット・タイプを選択可能な通信データの処理を制御する方法であって、
前記通信局で受信された前記通信データを処理するために第１動作モードと第２動作モードのうちの少なくとも１つを選択する動作であって、該通信データが形成される第１フォーマット・タイプと第２フォーマット・タイプのいずれのフォーマット・タイプかに依存して該通信データを処理するモードを選択する選択動作と、
前記選択する動作の期間中に選択された動作モードで前記通信データを処理する処理動作と、を有する方法。
【請求項１７】
前記通信局は無線リンク・プロトコル層を含む論理層によって規定され、前記の選択動作と前記の処理動作が該無線リンク・プロトコル層において行われる請求項１６に記載の方法。

【請求項１８】
前記無線通信システムは無線リンク・プロトコル層を含む論理層によって規定され、前記第１フォーマット・タイプと前記第２フォーマット・タイプは無線リンク・プロトコル層フォーマット化タイプから成り、前記の選択動作は、前記第１動作モードと前記第２動作モードのうちのいずれのモードで該無線リンク・プロトコル層において前記のデータを処理するかを選択する請求項１６に記載の方法。
【請求項１９】
前記の処理動作が前記無線リンク・プロトコル層において行われる請求項１８に記載の方法。
【請求項２０】
前記第１フォーマット・タイプは１ｘＲＴＴフォーマット化から成り、前記第２フォーマット・タイプは１ｘＥＶ－ＤＶフォーマット化から成る請求項１６に記載の方法。
【請求項２１】
前記の選択動作の期間中に行われる選択が前記第１動作モードと前記第２動作モードの双方の選択から成る請求項１６に記載の方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
層５４はＬＡＣ副層６６とＭＡＣ副層６８とを含む。また、図示するように、ＭＡＣ副層では、ＲＬＰ６９、ＢＰＢＰ、及び多重化及びＱＯＳ配信機能７０が実行される。また、部分５４では、ブロック７２で示すＦ－ＰＤＣＨ制御機能が提供される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図５】

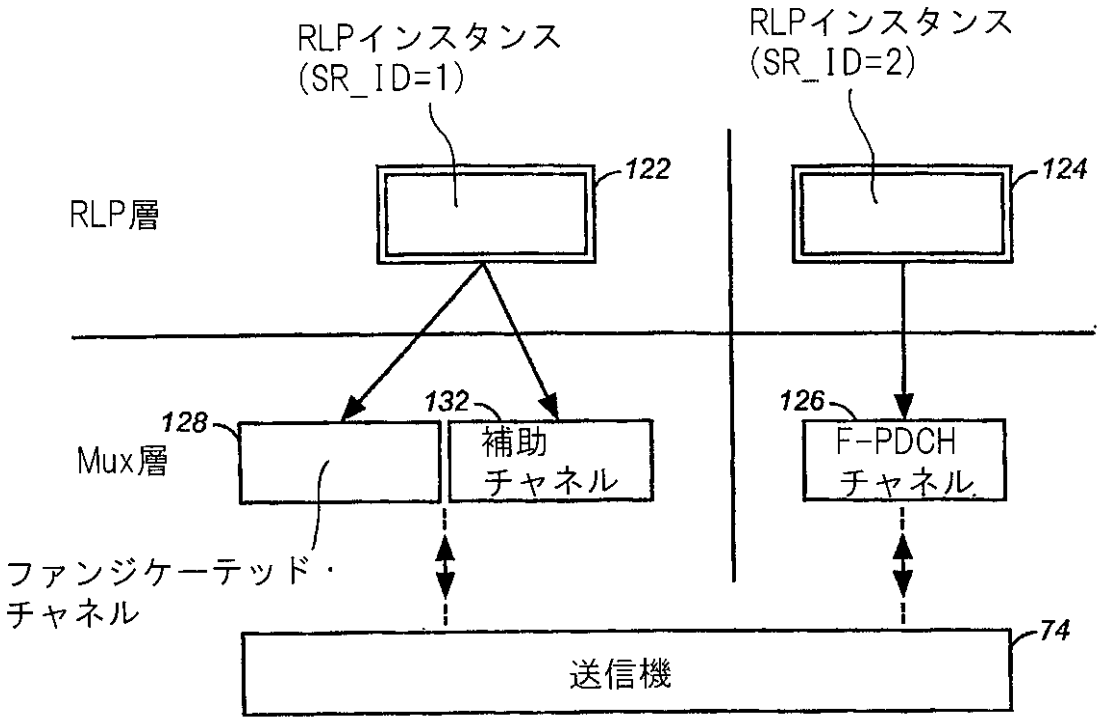

RLPインスタンス
(SR_ID=1)
RLPインスタンス
(SR_ID=2)
RLP層
122
124
128
Mux層
132
補助
チャネル
126
F-PDCH
チャネル
ファンジケーテッド・
チャネル
74
送信機

FIG. 5